

年度末報告書（実行団体）

- 提出日：2023年4月20日
- 事業名：人権教育のためのデジタル博物館
- 資金分配団体：一般財団法人大阪府人権協会
- 実行団体：（公財）大阪人権博物館

① 実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗状況*
デジタルコンテンツの提供による遠隔による教育機会の増加	学習機会が相対的に増加しているかどうか。	デジタルコンテンツが有効に活用され（とくに学校教育現場において）、学習・研修機会が保証されている。	2024年 3月	完成した映像コンテンツ(解説書付き)を一般販売済み<アンケート実施途中>	2
実物資料やパネルなどの有効活用による学習機会の保証	展示観覧によってアクティブラーニングできているか。	企画展における展示観覧によってアクティブラーニングが可能となっている。	2024年 3月	展示観覧（資料・パネルなど）実施済み<アンケート実施済み>	2
セミナーおよびフィールドワークなどの実施による研修機会の増加	研修機会が十分に確保されているか。	研修を通して人権問題の現状が深く理解されている。	2024年 3月	FW・セミナーなど研修機会の実施済み<アンケート実施済み>	2

*進捗状況：1 計画より進んでいる、2 計画どおり進んでいる、3 計画より遅れている、4 その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み
2.概ね達成の見込み
2.アウトカムの状況
A：変更項目 <input type="checkbox"/> 変更なし <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの内容 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの表現 <input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの指標 <input type="checkbox"/> アウトカムの目標値
3. 活動に関する報告
デジタルコンテンツ（DVD版もあり）の完成と販売・配布。企画展の実施による展示観覧機会の保証。展示に合わせたデジタルコンテンツの上映とその内容に関する意見聴取（アンケート）。学校からの映像コンテンツを活用した授業に関するアンケートの実施、展示と合わせたセミナーの実施による学習機会の確保。貸し出しパネルなど人権問題相談への対応機会の増加。
6. 新型コロナウイルス感染拡大に対して、事業活動を行う際に工夫した点
企画展の実施に際して、参加者へのコロナ対策の周知と主催者としての具体的対策の実施(マスク着用の呼びかけ、会話への注意、消毒用アルコールの設置など)。

③ 広報に関する報告

シンボルマークの使用状況
<input checked="" type="checkbox"/> 自団体のウェブサイトに表示している <input checked="" type="checkbox"/> 広報制作物に表示している <input checked="" type="checkbox"/> 報告書に表示している <input checked="" type="checkbox"/> イベント実施時に表示している <input type="checkbox"/> その他 →「その他」を選択した場合は記載してください（自由記述）：

広報

1.メディア掲載 (TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

2022.7.20「読売新聞」・2022.7.23「毎日新聞」・2022.7.24「朝日新聞」(いずれも「企画展 2022」の報道)

2.広報制作物等

とくになし

3.報告書等

『「人権教育のための「デジタル博物館」』(人権NPO協働助成事業)の実施にあたっての事業構想とその理念に関する考察」(2021.7.10)

『「人権教育のための「デジタル博物館」』(人権NPO協働助成事業)の実施過程における博物館の有用性に関する考察」(2021.11.30)

4.イベント開催等 (シンポジウム、フォーラム等)

2022.7.22～27「企画展 2022～もっと知ろう！水平社 100年の歴史・くわしく知ろう！ハンセン病問題」大阪府立労働会館 (9階・ギャラリー1)

④規程類の整備に関する報告

1. 事業期間に整備が求められている規程類の整備は完了しましたか。

完了 整備中

2. 整備が完了した規程類を web サイト上で広く一般公開していますか。

全て公開した 一部未公開 未公開

→「一部未公開」「未公開」を選択した場合の理由と公開予定日：

3. 変更があった規程類に関して資金分配団体に報告しましたか。

はい いいえ

→「いいえ」を選択した場合の理由：

⑤ガバナンス・コンプライアンスに関する報告

1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
2. 内部通報制度は整備されていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「はい」の場合の設置方法（複数選択可）： <input checked="" type="checkbox"/> 内部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> 外部に窓口を設置 <input type="checkbox"/> JANPIAの窓口を利用
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか
<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。
<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ → 「いいえ」を選択した場合の理由：代替措置として理事会・評議員会でコンプライアンスに関し逐次報告しているため。
6. 報告年度の内部監査又は外部監査を実施予定ですか。（実施済みの場合含む）
<input checked="" type="checkbox"/> 内部監査を実施 <input type="checkbox"/> 外部監査を実施 <input type="checkbox"/> 実施する予定がない → 「実施する予定がない」を選択した場合の理由：

添付資料

活動の写真（画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度）



企画展2022の会場

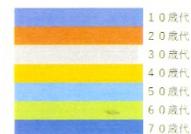
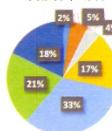
企画展2022アンケート集計

設問	7.22	7.23	7.24	7.25	7.26	7.27	合計	Paper	QRcode
Q1①自身の意識や関心が変わった	11	36	25	26	25	26	149	84.1%	80.0%
Q3①実物資料が眺めて良かった	12	38	34	30	34	28	176	99.5%	100.0%
Q5①映像内容はわかりやすい	9	31	23	28	24	17	132	74.6%	94.4%
Q7①映像を使おうと思う	8	27	24	12	20	26	117	66.1%	64.2%

Q1②自身の意識や関心は変わらなかった	1	2	9	4	9	3	28	15.8%	20.0%	すでに知っている知識だった	同様の企画展で観てきた	内容が乏しい
Q3②実物資料が眺めても良くなかった	0	0	0	0	0	1	1	0.5%	0%	資料が少ない		
Q5②映像は分かりにくかった	1	0	1	0	0	0	2	0.1%	5.6%	時間が長い	内容が難しい	卒業する時間なかった35人
Q7②映像を使おうと思わない	2	3	10	3	2	0	20	11.3%	15.8%	機会がない・使う立場にない	小学生には難しい	発見する時間なかった35人

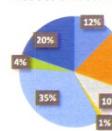
年代	7.22	7.23	7.24	7.25	7.26	7.27	合計	Paper	QRcode
10歳代	0	0	0	0	0	4	4	2.3%	5.0%
20歳代	0	4	2	0	2	1	9	5.1%	10.0%
30歳代	2	3	2	1	0	0	8	4.1%	20.0%
40歳代	4	10	5	6	3	2	30	16.9%	20.0%
50歳代	2	8	15	14	8	11	58	32.8%	25.0%
60歳代	2	6	6	5	13	5	37	20.9%	15.0%
70歳代	2	7	4	4	8	6	31	17.9%	5.0%
年齢別計	12	38	34	30	34	29	177	100.0%	100.0%

年齢別来場者



企業関係者	4	1	6	7	2	2	22	12.4%	0%
学校関係者	5	7	4	10	5	1	32	18.1%	36.8%
行政関係者	0	3	2	3	2	8	18	10.2%	5.3%
宗教関係者	0	0	1	0	1	0	2	1.1%	0%
市民	2	18	17	7	13	4	61	34.5%	47.4%
学生	0	1	1	0	1	4	7	3.9%	10.5%
その他	1	8	3	3	10	10	35	19.8%	0%
所属別計	12	38	34	30	34	29	177	100.0%	100.0%

所属別来場者数



Q8いくらなら観覧するか

平均 530円

Paper回答数	12	38	34	30	34	29	177
Paper回答率	48%	69%	56%	59%	57%	60%	59%
QRcode回答数	-	-	-	-	-	-	20
回答総数	-	-	-	-	-	-	65.4%
総入場者数	26	55	61	51	60	48	303

MEMO

ミュージアムトーク参加人数

21人 21人

計 42人

企画展 2022 のアンケート結果

授業をご担当いただいた先生方へのご質問

Q1 今回の授業では、その映像教材をお使いになりましたか。

①牛乳と私たちの暮らし ②ハンセン病問題を考える

Q2 何年生を対象とした授業でしたか。

①小学()年生 ②中学(2)年生

Q3 授業は、合計で何時間でしたか(事前・事後学習などをふくむ)。

◇おおよそ(2)時間

Q4 児童・生徒の反応はいかがでしたか(具体的にいくつかもお書きください)。

例) 授業後に、当該問題に関する会話が増えた など
・偏見や差別により人生を奪われた人がいることに驚いていた。
・正しい知識を持つことの必要性を感じる声が多く聞かれた。
・「ものけし」の登場人物との関連に興味をもちつづいた。
・ごく一部ではあるが、ハンセン病に対する偏見や差別を一般化して、他にもこのような事例があるかもしれないと考える声があった。

Q5 今後も授業で、こうした映像教材を使おうと思いますか(理由もお書きください)。

①使おうと思う ②使おうと思わない

あの内容を読み物(厚労省作成のパンフレットなど)として子どもたちが読むのは限界があり、難しいと思う。
やはり映像であるほうが分かりやすく、子どもたちにとってとっつきやすいと思う。

◇差支えなければ、以下の質問にもお答えください(公表はいたしません)。

I) 学校名 () 中学校

II) 教員氏名 ()

III) 生徒人数 全校生徒(514)人 実践をした2年生(188)人

2023年 2月 1日
ご協力ありがとうございました。 大阪入権博物館

授業をご担当いただいた先生方へのご質問

Q1 今回の授業では、その映像教材をお使いになりましたか。

①牛肉と私たちの暮らし ②ハンセン病問題を考える

Q2 何年生を対象とした授業でしたか。

①小学()年生 ②中学(3)年生

Q3 授業は、合計で何時間でしたか(事前・事後学習などをふくむ)。

◇おおよそ(2)時間

Q4 児童・生徒の反応はいかがでしたか(具体的にいくつかもお書きください)。

例) 授業後に、当該問題に関する会話が増えた など

子どもたちなりに、真剣に考えていた。
校内でできる限り、人権問題にとりくんでいるので、
人権を大切にするという意識は高まっていると思う。

Q5 今後も授業で、こうした映像教材を使おうと思いますか(理由もお書きください)。

①使おうと思う ②使おうと思わない

ハンセン病についての良い教材が少ないので、活用したいです。
ただ、お話しが多いので、せっかくのDVDなので、もう少しいろんな
映像があれば良かったかなとも思います。

◇差支えなければ、以下の質問にもお答えください(公表はいたしません)。

I) 学校名 () 小学校・中学校

II) 教員氏名 ()

III) 生徒人数 ()人

2023年3月24日
ご協力ありがとうございました。 大阪入権博物館

DVD を活用した中学校での授業後の教員によるアンケート

